

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 10 日

事業名称		地域生活支援事業費[日中一時支援事業]										
予算科目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	4	障害者福祉費	事業番号	6	
事業の種別	☐ 市単独 ☐ 補助対象 ☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	障害福祉 課 障害福祉					係	課長名		大法 努			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 3			
【施策名】 障害者福祉の推進								総合計画書 (ページ)	55			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 ・ 学齢児以上の身体・知的・精神障害児・者					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 市内の身体及び知的障害者・精神障害者数						
	→											
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] ・ 障害児・者を日中一時的に施設等で預かることにより、介護者の一時的な休養の確保を行う。					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 利用者数/市内の障害者数						
	→											
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。 ・ 介護者の一時的な休養の確保等を行うため、障害児・者を日中において施設等で一時的に預かり介護を行う。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 利用者数						
	→											
3 経費			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標				
	対象指標	①の数値	人	4,166	4,221	4,257						
	成果指標	②の数値	%	1.1	1.2	1.2						
	目標	②の目標値										
		目標値設定の考え方										
3 経費	事業費(実績)		円	3,085,452	2,600,953	2,410,062	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	1,677,452	1,339,953	1,232,062						
		特定財源	円	1,408,000	1,261,000	1,178,000						
		(うち受益者負担)	円									
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.2						
		所要人数(再任用)	人									
		職員人件費(再任用以外)	円	1,650,600	1,648,800	1,662,000						
		職員人件費(再任用)	円									
事業費+人件費		円	4,736,052	4,249,753	4,072,062							
4 環境変化等	(1) 開始年度		H18 年度									
	(2) 環境の変化		・平成22年度から、単独型事業所加算を設けて、入所施設と併設でない事業所での報酬を手厚くした。 ・平成28年10月から、2時間以上4時間未満の短時間枠を設けて、主に成人の方が平日の日中活動終了後にも利用できるようにしている。									

事業名称	地域生活支援事業費[日中一時支援事業]			
担当部署・課長名	障害福祉	課	障害福祉	係 課長名 大法 努

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について ・知的障害児が長期休み中に利用するケースがほとんどであるが、希望する日に使えないという声がある。 ・特別支援学校在籍保護者との地域別懇談会を年に1回設け、意見を伺っている。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ	取組手法：		
	☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）			
	1日あたりの定員を定めた契約をしていることから、利用を希望している日に利用できない場合がある。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。			
	契約事業者と調整し、柔軟な対応を行えるように運用した。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
・契約事業者と調整し、契約書の見直しなどを行う。 ・報酬単価の割合が良くなく、事業の指定をとっている事業者はいるが、実際に運営している事業者は多いとは言えないため、報酬単価の見直し等について近隣市の動向を研究する。				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
	施策名： 障害者福祉の推進			
	☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止			
	【取組内容】 現状の予算の範囲内で、より市民が使いやすい運用を検討する。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	近隣市の同事業の運営状況等を研究する。 契約事業者とより市民ニーズに即した運営について調整する。			